

令和7年度
青森県立保健大学大学院
学生募集要項

【博士前期課程 第1期・第2期募集】

健康科学研究科健康科学専攻

保健・医療・福祉政策システム領域
対人ケアマネジメント領域
基礎研究・実用技術領域
CNS（専門看護師）コース



公立大学法人 AOMORI UNIVERSITY OF HEALTH AND WELFARE

青森県立保健大学

【目 次】

研究科の特徴	1
アドミッション・ポリシー.....	1
ディプロマ・ポリシー.....	1
はじめに ▶ 出願準備から合格発表・入学手続きまでの流れ.....	3
1 募集人員.....	4
2 取得できる学位.....	4
3 選抜区分.....	4
4 出願資格.....	5
5 研究指導教員との事前相談について.....	6
6 社会人の修学に関する配慮.....	6
7 出願資格認定.....	7
8 出願手続等.....	8
9 出願書類.....	9
10 選抜方法.....	10
11 選抜試験の日時・試験会場等.....	13
12 合格発表.....	14
13 入学手続等.....	14
14 研究領域及び指導教員連絡先.....	16
15 情報開示請求制度について.....	18
16 これまでの修士論文・課題研究論文抄録について.....	18
17 大学院・MPHプログラムに関するQ&A.....	19

本 研 究 科 の 特 徴

看護・理学療法・社会福祉・栄養などの専門職を中心とした多様な分野の学生が、人々の健康と福祉の向上に資する研究テーマをもち、幅広い分野の教員から講義・演習・研究指導を受けています。

- ＜特徴①＞ 多職種連携による高度実践、学際的な研究を推進するための研究領域（「保健・医療・福祉政策システム領域」「対人ケアマネジメント領域」「基礎研究・実用技術領域」）の設定
- ＜特徴②＞ 自らの研究課題やキャリアパスに応じて、柔軟に講義や演習を選択・履修することのできる「モジュール」によるカリキュラム
- ＜特徴③＞ 社会人学生に配慮した授業（土日、夜間開講、夏季期集中講義、Web 会議システムによる遠隔授業、長期履修制度）
- ＜特徴④＞ 令和5年度から、「修士（公衆衛生学）」の学位を取得できるプログラムを開設。

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れ方針）

青森県立保健大学の理念は、「公立大学法人青森県立保健大学は、青森県の保健、医療及び福祉に係る諸課題の解決に向けて、「いのち」を育んできた創造性と四季豊かな自然に恵まれた地域特性を生かした教育研究活動を進め、ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成するとともに、青森県立保健大学を地域に開かれた大学として地域社会、ひいては国際社会の発展に貢献する。」ことです。

本学の理念を実現・実践し、研究能力及び高度な専門知識・技能を身につけ、社会で活躍できる人材を育成するため、以下のような学生を求めています。

- 1 健康科学に関して問題意識をもち、その深い理解と真理の探究に意欲をもつ人
- 2 保健、医療及び福祉の諸課題を科学的・理論的に研究するための基礎的な能力をもつ人
- 3 保健、医療及び福祉分野のリーダーや教育者として、社会に貢献しようとする意欲をもつ人

アドミッション・ポリシーに掲げる高い能力と資質を備え、かつ多様な学生を選抜するために、年2回、一般選抜及び外国人留学生選抜を実施します。入学者選抜試験では、総合的学力及び意欲、探究心等を多面的かつ総合的に評価するために、筆記試験及び面接試験を実施します。

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

大学院健康科学研究科博士前期課程では、本学の「ヒューマンケアを実践できる人間性豊かな人材を育成する」という理念のもと、所定の教育課程において修了要件となる単位数を修得するとともに、特別研究又は課題研究の成果として提出された学位論文の審査及び最終試験に合格し、コースワークやリサーチワークを通して、次の知識・能力を身につけた者に修士の学位を授与します。

修士（健康科学）

- (1) 豊かな人間性、高い倫理観並びに強固な責任感を持って、健康科学の学術研究や実践活動ができる。
- (2) 健康科学に関する諸課題に対して積極的に取り組み、科学的・理論的に分析し、課題解決できる。
- (3) 研究や実践活動で得た成果を社会に発信することで、社会への還元活動を行うことができる。

修士（看護学）

- (1) 豊かな人間性と看護学における専門的知識・技術と高い倫理観、並びに科学的思考法を活用し、保健、医療及び福祉における諸課題の明確化と問題解決ができる。
- (2) 論理的・科学的思考力を備え、保健・医療・福祉の現場における看護の現象や実践的技術に関する研究能力から、学術的な成果を発信し社会に貢献できる。

「CNS コース」では上記の(1)及び(2)に加え、次の知識・能力を身につけることを求めます。

- (3) 専門領域に精通した臨床判断に基づき、ケアとキュアを統合した高度な看護を実践できる。
- (4) リーダーシップを発揮して多職種・組織と連携・協働し、専門領域の看護実践の改革を推進できる。

修士（社会福祉学）

- (1) ソーシャルワーク実践に必要とされる高い倫理観と社会福祉領域における各種研究手法を身につけ、ソーシャルワーク実践の探究ができる。
- (2) 生活者や地域の抱えるニーズを、ミクロ・メゾ・マクロ的な視点から客観的に捉え、社会福祉政策を理論的に探究し、社会に発信できる。
- (3) 社会福祉各実践領域における理論を理解し、保健・医療・福祉・司法・教育・行政など、多様な関連領域との連携を踏まえ、ジェネラリスト・ソーシャルワークの視点から言語化できる。

修士（公衆衛生学）

- (1) コア5領域（疫学、生物統計学、保健政策・医療管理学、環境産業保健学、社会行動科学）の知識と実践的技術を活用し、公衆衛生上の課題を科学的に分析、評価できる。
- (2) 多様な人々の健康課題の明確化とその背景要因を同定し、地域のさまざまな人々と協働、連携しながら、課題解決のための戦略的なコミュニケーションを駆使し、リーダーシップを発揮できる。
- (3) 保健・医療・福祉システムのあり方やシステム構築のプロセス、それらの現状と課題を把握し、社会的公平性をもとに、実務において創造的で革新的な企画・政策を考案できる。

はじめに ▶ 出願準備から合格までの流れ

① 志望する研究指導教員を検討する

- ・自分の志望にあてはまる研究指導教員を16～17ページから確認してください。

② 研究指導教員を決めて、事前相談を行う

- ・研究指導教員との事前相談方法については、6ページを参照してください。

③ 出願資格および選抜方法を確認する

- ・出願資格を確認し、出願する入試区分、および選抜方法等をよく確認してください。

④ 出願書類を準備する

- ・出願書類の項目を確認し、出願書類を不足なく準備してください。
- ・作成、取り寄せに時間がかかる書類もありますので、早めに準備してください。

⑤ 入学検定料を納入する

- ・本学指定口座に入学検定料を振込んでください。
第1期振込期間 令和6年 8月26日(月)～令和6年9月5日(木)
第2期振込期間 令和6年12月23日(月)～令和7年1月9日(木)

⑥ 出願書類を提出する

- ・出願書類を準備し、必要書類がすべて揃ったら、出願期間内に角形2号封筒に入れ、郵送（書留速達）又は直接持参により提出してください。
- ・出願資格審査を要する方は、定める出願資格認定申請期間に、提出書類を郵送（書留速達）又は直接持参により提出してください。
第1期出願期間 令和6年9月2日(月)～令和6年9月5日(木)
第2期出願期間 令和7年1月6日(月)～令和7年1月9日(木)

⑦ 受験票を受け取る

- ・試験区分や受験番号を記載した受験票を郵送します。

⑧ 入学者選抜試験

- ・試験科目、選抜方法については13ページを参照してください。
第1期選抜試験 令和6年10月19日(土)
第2期選抜試験 令和7年2月8日(土)

⑨ 合格発表・入学手続き

- ・合格発表については、14ページを参照してください。合格者には合格通知書とともに入学手続き書類を郵送します。入学手続き締切日までに初年度納付金を納入の上、入学手続き書類を郵送してください。
- ・入学手続き完了者には、3月中に入学式およびオリエンテーション等の案内をお知らせします。
第1期合格発表 令和6年10月25日(金)
第2期合格発表 令和7年2月17日(月)

1 募集人員

【第1期】

専攻	領域	募集人員	修業年限
健康科学専攻	保健・医療・福祉政策システム領域	10名 (外国人留学生選抜 及びCNSコース選抜 若干名を含む)	2年 (CNSコース選抜を 除き、標準修業年限2年 を超えて3年での履修 が可能)
	対人ケアマネジメント領域		
	基礎研究・実用技術領域		
	CNS (専門看護師) コース		

【第2期】

専攻	領域	募集人員	修業年限
健康科学専攻	保健・医療・福祉政策システム領域	若干名 (外国人留学生選抜 及びCNSコース選抜 若干名を含む)	2年 (CNSコース選抜を 除き、標準修業年限2年 を超えて3年での履修 が可能)
	対人ケアマネジメント領域		
	基礎研究・実用技術領域		
	CNS (専門看護師) コース		

2 取得できる学位

- ・ 修士 (健康科学)
 - ・ 修士 (看護学)
 - ・ 修士 (社会福祉学)
 - ・ 修士 (公衆衛生学)
- (CNS (専門看護師) コースを修了した場合は、修士 (看護学) を取得できます。)

3 選抜区分

「一般選抜」「外国人留学生選抜」「CNSコース選抜」を行います。
出願できるのはいずれか一つであり、出願後に選抜区分を変更することはできません。

4 出願資格

(1) 一般選抜

「一般選抜」に出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。

- ① 学校教育法第 83 条の大学を卒業した者（又は令和 7 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者）
- ② 学校教育法第 104 条第 7 項の規定により学士の学位を授与された者（又は令和 7 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者）
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者（又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者（又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ⑥ 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（又は令和 7 年 3 月 31 日までに修了見込みの者）
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者（昭和 28 年 2 月文部省告示第 5 号）
- ⑧ 学校教育法第 83 条の大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院において認められた者（令和 7 年 3 月 31 日までに在学又は修了見込みの者を含む）
- ⑨ 短期大学及び高等専門学校を卒業した者、専修学校専門課程の修了者等の大学を卒業した者以外の者で、次のア～オのいずれかを満たし、かつ、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認められた者（令和 7 年 3 月 31 日までに満 22 歳に達するものに限る）
 - ア 学会発表もしくは学術誌等での論文発表があること
 - イ 職務上の業績があること
 - ウ 研究生として本学又は他の教育研究機関に 1 年以上在籍し、成果を収めていること
 - エ 管理栄養士の資格を有すること、又は栄養士の資格を有し栄養士として 3 年以上の実務経験を有すること
 - オ 研修学校（厚生労働省、看護協会、都道府県など公的又はそれに匹敵する機関の 6 ヶ月以上の看護教員養成課程）又は継続教育（看護管理者養成課程、認定看護師教育課程）などを修了していること
- ⑩ その他、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認められた者

(注) 出願資格⑧～⑩により出願を希望する者は、出願前に出願資格の認定審査を受ける必要があります（「7 出願資格認定」を参照してください）。

(2) 外国人留学生選抜

「外国人留学生選抜」に出願できる者は、次の 2 つの基準を満たすものとします。

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 一般選抜の出願資格の条件を満たす者

(3) CNSコース選抜

「CNSコース選抜」に出願できる者は、次の2つの基準を満たすものとします。

- ① 一般選抜の出願資格の条件を満たす者
- ② 看護師免許を有する者

5 研究指導教員との事前相談について

(1) 研究指導教員について

研究指導教員とは、学位論文・課題研究論文の指導を受ける教員のことをいいます。

出願希望者は、研究指導教員を決めて、出願前（出願資格認定をする者については、出願資格認定審査申請前）に、必ず事前相談を行ってください。

(2) 事前相談の進め方

本学ホームページ及び大学院案内等を参照のうえ、選んだ研究指導教員に、電話・メール等で直接連絡を取り、入学後の研究内容等について面談をします。

6 社会人の修学に関する配慮

(1) 大学院設置基準に基づく授業時間などの特別措置

昼夜開講制の導入（大学院設置基準第14条）及び土・日、夏季集中講義により、社会人が働きながら学べる環境に配慮しています。

(2) 長期履修制度（CNSコース選抜を除く）

職業を有していたり、介護・育児に従事している等の事情により標準修業年限（2年）を超えて計画的に教育課程を履修し課程を修了することを希望する場合、教育研究上の必要があると認められれば、修業年限3年での履修が可能となります。

※ 上記措置の適用を希望する者は、入学志願票（A票）の「修業年限コースの選択」欄において、「2：長期履修（3年）」を選択してください。ただし、入学手続の際に改めて申請手続きが必要となります。

(3) Web会議システムによる遠隔授業や研究指導

教室とオンラインを併用した遠隔授業を積極的に取り入れています。

7 出願資格認定（該当者のみご提出ください）

一般選拔出願資格⑧⑨⑩に該当する者（外国人留学生選抜又はCNSコース選抜で一般選拔出願資格⑧⑨⑩に該当する者を含む。）で出願を希望する者は、あらかじめ、出願資格の認定審査を受ける必要があります。

（1）審査の方法

出願資格の認定審査は、出願に先立って、提出書類の審査によって行います。

（2）提出書類

次の書類を角形2号封筒に入れ、**郵送（書留速達）又は直接持参**により提出してください。なお、封筒余白に「博士前期課程第1期出願資格認定審査申請書類」又は、「博士前期課程第2期出願資格認定審査申請書類」と朱書きしてください（提出書類は返還しません）。

**一般選拔出願資格⑧⑨⑩に該当する者
（外国人留学生選抜又はCNSコース選抜で一般選拔出願資格⑧⑨⑩に該当する者を含む）**

- 1) 出願資格認定審査申請書：本学所定D票
- 2) 履歴書：本学所定E票
- 3) 成績証明書：最終学歴の学校所定の用紙により発行者が厳封したもの。
- 4) 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書：最終学歴の学校所定の用紙により発行者が厳封したもの。
- 5) 第1期の申請の場合：434円分の郵便切手（認定審査結果通知郵送料）
第2期の申請の場合：460円分の郵便切手（認定審査結果通知郵送料）

※1 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

※2 提出書類は本学ホームページからダウンロードできます。

(<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/exam/seikyuu.html>)

【提出先】

〒030-8505
青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1
青森県立保健大学事務局教務学生課 TEL 017-765-2061（直通）

（3）申請期間等

① 申請期間

【第1期】 令和6年7月29日（月）から 令和6年8月1日（木）まで

【第2期】 令和6年12月2日（月）から 令和6年12月5日（木）まで

（最終日午後5時必着）

直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

② 出願資格認定審査結果の通知

出願資格認定審査結果については、

【第1期】 令和6年8月30日（金）まで

【第2期】 令和6年12月27日（金）まで

に本人あてに通知書を発送（郵送）します。認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

8 出願手続等

(1) 出願期間

【第1期】 令和6年9月2日(月)から令和6年9月5日(木)まで

【第2期】 令和7年1月6日(月)から令和7年1月9日(木)まで
(最終日の午後5時必着)

出願書類を直接持参する場合の受付時間は、午前9時から午後5時までです。

(2) 出願方法

出願者は、所定の出願書類を角形2号封筒に入れ、郵送(書留速達)又は直接持参により提出してください。なお、封筒の余白に「博士前期課程第1期募集出願書類」又は、「博士前期課程第2期募集出願書類」と朱書きしてください。

【提出先】

〒030-8505
青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1
青森県立保健大学事務局教務学生課 TEL 017-765-2061 (直通)

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ② 出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペン又は黒色インクを使用し、正しく記入してください。
- ③ 出願受付後の出願事項の変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、本学教務学生課まで連絡してください。
- ④ 一度受理した出願書類は返還しません。
- ⑤ 振込済みの入学検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・入学検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合
 - ・入学検定料を振り込んだが、出願書類が受理されなかった場合
 - ・誤って入学検定料を二重に振り込んだ場合※上記の場合は、速やかに青森県立保健大学教務学生課までお問い合わせください。
- ⑥ 受験票は、出願受付後に本人あてに送付します。試験日3日前までに受験票が届かない場合は、本学教務学生課まで連絡してください。
- ⑦ 出願書類等が事実と異なる場合及び出願資格の要件を満たさないことが判明した場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。

(4) 身体等に障害を有する入学志願者の事前相談について

身体等に障害を有する入学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合には、

【第1期】 令和6年7月25日(木)

【第2期】 令和6年11月28日(木)

までに青森県立保健大学教務学生課までメールで連絡し、相談してください。

9 出願書類

出願書類		一般・CNS	外国人	摘 要
入学志願票	A票	◎	◎	必要事項を漏れなく記入してください。
受験票用写真（2枚）		◎	◎	縦4cm×横3cmの写真（正面上半身無帽、背景なし、出願前3ヶ月以内に撮影したもの、裏面に氏名を記入）を2枚提出してください。
卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書		◎	◎	出願資格に該当する出身学校（1校）所定の用紙により発行者が 厳封 したもの。該当する学校が複数ある場合、任意の1校の証明書を提出してください。 なお、本学健康科学部修了見込者は、提出する必要はありません。
学士の学位授与（見込）証明書等		○	○	一般選抜出願資格②で出願する者が提出してください。 学位授与機構が発行する学士の学位授与（申請受理）証明書若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書を提出してください。
成績証明書		◎	◎	出願資格に該当する出身学校（1校）所定の用紙により発行者が 厳封 したもの。なお、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されている科目がある場合には、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください。
履歴書	B票	◎	◎	必要事項を漏れなく記入してください。
研究計画書	C票	◎	◎	必要事項を漏れなく記入してください。
免許証等の写し		○	○	CNS（専門看護師）コースを希望する者は、看護師免許の写しを提出してください。
入学検定料（30,000円）の振込書控の写し		◎	◎	下記の本学指定口座に入学検定料を振込み、その振込書控の写しを提出してください。また、振込手数料は志願者の負担となります。 【第1期振込期間】 令和6年8月26日（月）～令和6年9月5日（木） 【第2期振込期間】 令和6年12月23日（月）～令和7年1月9日（木） 【入学検定料振込先】 金融機関名 青森銀行 浜館支店 預金種類 普通預金 口座番号 1097912 口座名義 公立大学法人青森県立保健大学
住民票、又は在留カードの写し（両面）			○	日本国内に居住する外国籍の者は、「在留カード」の両面コピー又は市区町村長の発行する住民票（在留資格が記載されたもの）を提出してください。
受験票返送用封筒		◎	◎	「受験票」送付用として使用します。長形3号封筒に郵便番号、住所、氏名を明記し、460円分の切手を貼付してください。

※ ◎印は必須、○印は該当者のみ提出する書類です。

※ 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。

※ 外国人留学生選抜に出願する場合の必要書類は一般選抜に準じ、次の書類を別途提出してください。

①本学在学中の授業料、生活維持費等の支払いを確実に負担できることを明らかにする書類

②日本語能力を明らかにすることができる書類

※ 証明書等が現姓と異なる場合は、戸籍抄本を提出してください。

※ 出願書類はホームページからダウンロードできます。（<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/axam/seikyuu.html>）

※ 出願資格認定を受けた者は、出願資格認定審査申請の際に提出した履歴書、卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書及び成績証明書の提出は不要です。

10 選抜方法

入学者の選抜は、選抜試験の結果及び出願書類等を総合して判定します。

各選抜区分における選抜試験の概要は、次のとおりです。

(1) 一般選抜

(総合得点 200 点)

選抜試験概要	試験時間	配点
英語 大学院入学後に、専門書や論文等を読むために必要となる英語力を問う問題であり、解答に要する時間は 40 分程度を想定しています（辞書の持ち込み可）。 英文（800 語程度）を読み、3～5 問程度の英文和訳や要約を中心とした設問に解答します。	90 分	50 点
専門科目（共通問題） 研究の遂行、論文の作成に必要と考えられる基本的な知識を問う問題であり、解答に要する時間は 20 分程度を想定しています。 分野を問わず必要となる量的データの処理（簡単な計算を含む）や統計学の基礎について、基本的には多肢選択、空欄補充、記述（図示を含む）のいずれかにより解答します。		50 点
専門科目（選択問題） 与えられた課題について、自分の意見を論述する問題であり、解答に要する時間は 30 分程度を想定しています。各領域から 1 問ずつ、計 3 問のうち 1 問を選択し解答します。ただし、出願する領域によって選択を制限するものではありません。		
面接（個人面接） 希望する学位プログラムにおける研究に対する熱意、知識、思考力、表現力、主体性及び協調性を評価します。	20 分	100 点

(2) 外国人留学生選抜

(総合得点 200 点)

選抜試験概要	試験時間	配点
総合問題 出題は英語で行い、解答は日本語か英語のいずれかにより行います。以下①～③の内容を出題し、解答に要する時間は 90 分です。 ①英文（800 語程度）を読み、3～5 問程度の英文読解や要約を中心とした問題 ②研究の遂行、論文の作成に必要と考えられる基本的な知識を問う問題 ③与えられた課題について、自分の意見を論述する問題	90 分	100 点
面接（個人面接） 希望する学位プログラムにおける研究に対する熱意、知識、思考力、表現力、主体性及び協調性を評価します。	30 分	100 点

(3) CNSコース選抜

(総合得点 200 点)

試験概要	試験時間	配点
専門科目 看護現場における諸課題について分析し、自分の意見を論述する問題であり、解答に要する時間は 60 分です。	60 分	100 点
面接（個人面接） 研究に対する熱意、知識、思考力、表現力、主体性及び協調性を評価します。	30 分	100 点

※ 第 1 期募集及び第 2 期募集を通じ、試験問題の難易度及び選抜基準は、ほぼ同等となるように設定しています。

【参考 入学者選抜試験の出典について】

※試験問題は公表しておりません。

1 博士前期課程

(1) 一般選抜

英語

実施年度	出典（出題に引用した文献）
令和5年度	Annabel Rackham, Fitness:Fewer than 5,000 steps a day enough to boost health—study, BBC News, 9 August 2023, https://www.bbc.com/news/health-66440424 Grace Huckins, On the basis of testosterone, Scientific American, 2021, 324, pp.51-55
令和4年度	Allen F. Shaughnessy, et al., Becoming an information master:a guidebook to the medical information jungle, Journal of Family Practice,39(5), 1994, pp.489-499 WHO and UNICEF, Advice on the use of masks for children in the community in the context of COVID-19 Annex to the Advice on the use of masks in the context of COVID-19, 21 August 2020, pp.3
令和3年度	Lauren Vogel ,Canada has long way to go on virtual care, Canadian Medical Association Journal, 2020, 192(9), E227-8, doi:10.1503/cmaj.109581 Nelson Mandela,Vaccine Equity It’ s only impossible until it’ s done,World Health Organization, https://www.who.int/campaigns/vaccine-equity

専門科目（共通問題）

実施年度	出典（出題に引用した文献）
令和5年度	引用出典なし
令和4年度	白戸亮吉,鈴木研太著『ていねいな保健統計学 第2版』,株式会社羊土社,2022年,pp.16-96 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修『はじめての栄養学研究論文』
令和3年度	坂下玲子著『看護研究』,株式会社医学書,2016年,pp.118-120,220-221 上野栄一著『看護研究コンパクトガイド』,株式会社医学書院,2002年,p.34 小塩真司著『SPSSとAmosによる心理・調査データ解析』,東京図書,2018年,p.2

専門科目（選択問題）

実施年度	出典（出題に引用した文献）
令和5年度	厚生労働省『2022（令和4）年国民生活基礎調査の概況』,2023年,p.14 厚生労働省『令和2年版厚生労働白書（平成30年度・令和元年度厚生労働行政年次報告）—令和時代の社会保障と働き方を考える—』,2020年,p.9 葛谷雅文著『高齢者における栄養管理 ギアチェンジの考え方』,日本医事新報,2016年4月2日4797号,pp.42-43 駒村康平著『主観的認知機能と認知機能の乖離がもたらす社会問題』,Aging&Health,32(3),2023年,pp.21-24 内閣府『令和2年交通安全白書』, http://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/r02kou_haku/index_zenbun_pdf.html ,p.23 『埼玉県ケアラー支援計画のためのヤングケアラー実態調査結果』,令和2年11月25日, https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/187028/03_youngcarer.pdf 厚生労働省,令和2年(2020)『患者調査の概況』, https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/kanja/20/index.html , https://www.mhlw.go.jp/tokei/saikin/hw/ktanja/20/dl/jyuryouritu.pdf

実施年度	出典（出題に引用した文献）
令和4年度	厚生労働省老健局『介護保険制度をめぐる最近の動向について』，社会保障審議会介護保険部会（第92回），令和4年3月24日， http://mhlw.go.jp/content/12300000/000917423.pdf 古賀聖典他著『コロナ禍における大学生のポジティブな変化』，山口県立大学学術情報，15，2022年，pp.65-71 佐々木敏著『佐々木敏のデータ栄養学のすすめ 氾濫し混乱する「食と健康」の情報を整理する』，女子栄養大学出版社，2018年，pp.175-183 内閣府男女共同参画局『令和4年版男女共同参画白書』，p.4 厚生労働省『人生の最終段階における医療に関する意識調査報告書（平成30年3月）』 朝日新聞『ワクチンを知ろう そもそもワクチンとはなに？新型コロナワクチンの一番の特徴は？』，朝日新聞 Re ライフ.net，2021-03-22， https://www.asahi.com/relife/article/14274888
令和3年度	厚生労働省『令和元年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果』 堂川冴子他著『1型糖尿病患者における、手を活用したカーボカウント指導法の有用性』 厚生労働省『令和2年版厚生労働白書』，pp.5-32 永原真奈美他著『小学生の入学後6年間における朝食の食事バランスと生活習慣や不定愁訴の変化』，栄養学雑誌，Vol178，No.4，2020年，pp.131-142

（2）外国人留学生選抜

実施年度	出典（出題に引用した文献）
令和5年度	Annabel Rackham, Fitness:Fewer than 5,000 steps a day enough to boost health—study, BBC News, 9 August 2023, https://www.bbc.com/news/health-66440424 National Institute of Population and Social Security Research, Regional Population Projections for Japan:2015-2045, https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson18/t-page.asp
令和4年度	志願者なし
令和3年度	志願者なし

（3）CNSコース選抜

実施年度	設問内容
令和5年度	問1 在院日数短縮に伴い、退院に向けた院内及び院外における多職種との連携・協働が重要となっている。そこで、あなたの施設におけるがん看護実践において、病棟・外来・地域との連携の現状を分析し、課題を書きなさい。 問2 今までのがん看護実践において、高齢がん患者の意思決定支援で困難であった事例を一つ挙げ、事例の概要を示した上で、どのような状況・看護場面であったのかを具体的に記述し、その事例の意思決定支援における実践上の課題を分析しなさい。
令和4年度	志願者なし
令和3年度	問1 あなたの所属部署におけるがん看護領域に関する臨床教育の現状を分析し、課題を書きなさい。また、その課題に対するあなたの考えを述べなさい。 問2 あなたの今までのがん看護実践において、ケア内容の見直しが必要と考える事例を挙げ、状況及び看護場面を具体的に書きなさい。また、見直しが必要である理由を研究的側面に言及しながら分析しなさい。
令和2年度	問1 医療技術の進歩により、現在では短期滞在手術やがん化学療法など高度な治療を外来で受けることが可能となっている。これにより患者が地域で生活しながら外来での継続治療を受ける機会が増え、外来における医療・看護提供の必要性は高まっている。そこで、外来看護におけるあなたの専門領域（がん看護）の課題を分析し、専門領域（がん看護）における看護の役割について、あなたの考えを述べなさい。 問2 あなたの今までのがん看護実践において、他職種との連携・調整が困難であった事例を一つ挙げ、簡潔に事例の概要を示した上で、困難であった理由と、その事例の連携・調整において看護職としてどのように取り組んだかを記述しなさい。

11 選抜試験の日時・試験会場等

(1) 選抜試験日時

【第1期】

年月日	選抜区分		CNS（専門看護師）コース	
	一般選抜・外国人留学生選抜		試験内容	時間
令和6年 10月19日(土)	試験内容	時間	試験内容	時間
	英語 専門科目	9:00~10:30	専門科目	9:00~10:00
	面接	11:00~	面接	10:30~

受付開始 午前8:00~ ※午前8:40までに指定された試験室に入室してください。

【第2期】

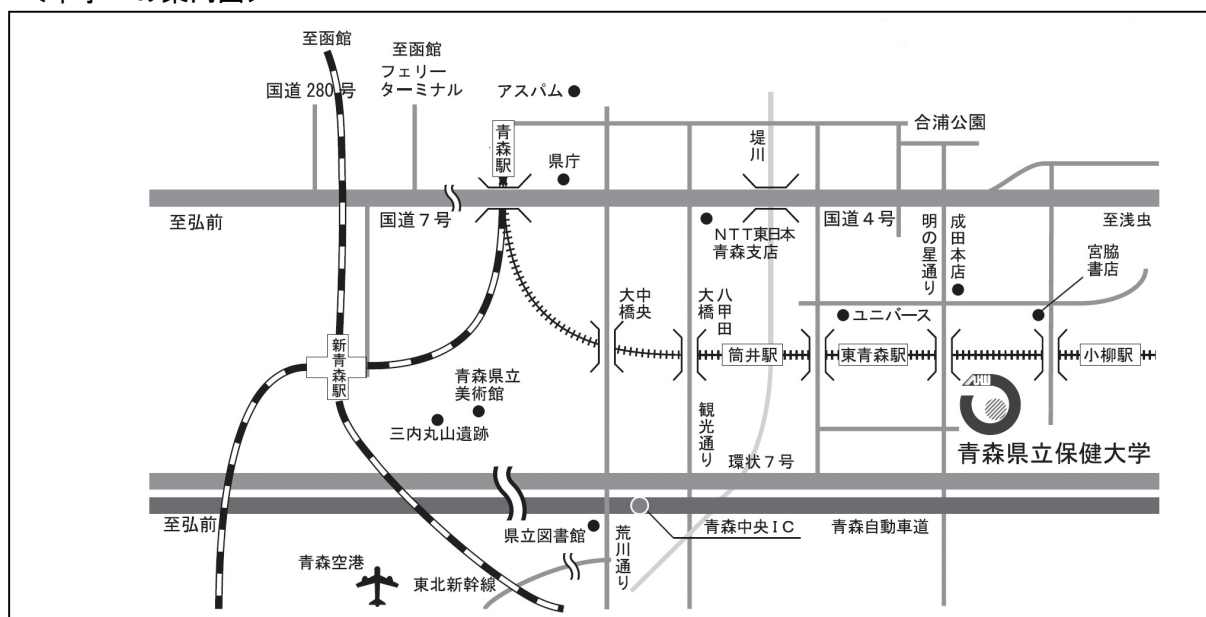
年月日	選抜区分		CNS（専門看護師）コース	
	一般選抜・外国人留学生選抜		試験内容	時間
令和7年 2月8日(土)	試験内容	時間	試験内容	時間
	英語 専門科目	9:00~10:30	専門科目	9:00~10:00
	面接	11:00~	面接	10:30~

受付開始 午前8:00~ ※午前8:40までに指定された試験室に入室してください。

(2) 試験会場

青森県立保健大学（青森市大字浜館字間瀬 58-1）

<本学への案内図>



(3) 受験上の注意事項

- ① 受験者は、午前8時40分までに指定された試験室に入室し、着席してください。
なお、受験者は、午前8時から入室できます。
- ② 英語、専門科目試験開始後は、20分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ③ 英語、専門科目又は面接試験のいずれか一つでも受けなかった者は、受験を辞退したものと取り扱います。なお、各人の面接開始予定時刻については、予め受験票送付の際、スケジュール表をお渡しします。
- ④ 受験票は常に携帯し、試験監督員等から請求があった場合は、すぐに提示できるように準備してください。
- ⑤ 当日受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票等の交付を受けてください。また、受験票は、入学手続の際に必要となりますので、試験後も大切に保管してください。
- ⑥ 試験時間中に使用を許可するものは、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみのも）、英和辞書（電子辞書は不可）1冊に限ります。
- ⑦ 携帯電話、スマートフォン等は教室に入る前に電源を切っておいてください。
- ⑧ 試験室における受験者間の物品の貸借は一切認めません。
- ⑨ 昼食は各自で準備してください。昼食場所は、試験会場を利用できます。
- ⑩ 試験会場及びその周辺で合格電報、レタックス等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係なく、トラブル等が生じても責任を負いかねます。
- ⑪ 事前に試験会場の下見をする場合は、試験前日の午後1時から午後5時までの間以降に試験会場入口に掲示してある配置図により、各自が受験する試験室を確かめておいてください。ただし、試験会場の中に入ることはできません。
- ⑫ その他必要な事項は、受験票送付の際に併せて通知します。

12 合格発表

【第1期】 令和6年10月25日（金） 午前10時

【第2期】 令和7年2月17日（月） 午前10時

本学のホームページで合格者受験番号を発表します。

あわせて、合格者に合格通知を送付します。

下記のURL又は右記のQRコードより確認できます。

<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/exam/goukakusya.html>

電話、郵便、電子メール等による問い合わせには応じません。



13 入学手続等

(1) 入学手続

① 入学手続期間

【第1期】

令和6年10月28日（月）～令和6年11月7日（木）（土・日・祝日を除く）

（時間：午前9時から午前11時45分及び午後1時から午後5時まで）

【第2期】

令和7年2月18日（火）～令和7年2月28日（金）（土・日・祝日を除く）

（時間：午前9時から午前11時45分及び午後1時から午後5時まで）

② 入学手続方法

入学手続の詳細及び必要な書類は、合格通知書とともに送付します。

入学手続は、必要な書類を揃え、郵送（期間内必着）するか、または直接下記の場所に持参してください。

③ 場 所

青森市大字浜館字間瀬 58-1

青森県立保健大学事務局教務学生課 TEL 017-765-2007

(2) 初年度納付金

① 入学料

入学手続の際は、下記の入学料を納付する必要があります。

ア 県内者 225,600 円

イ 県内者以外の者 338,400 円

「県内者」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が入学の日の1年前から引き続き青森県内に住民登録を有する者をいい、「県内者以外の者」とは、「県内者」に含まれない全ての者をいいます。

※ 本学健康科学部から引き続き大学院に進学する者については、入学料が免除となります。（免除手続の詳細及び必要書類は、対象者に合格通知書とともに送付します。）

② 学外実習費（CNS（専門看護師）コースのみ）

学外実習に係る費用の一部を学外実習費として徴収しております。入学手続の際に納付してください。

学外実習費 30,000 円

③ 授業料

ア 金額 年額 535,800 円（長期履修の場合は年額 401,850 円）

イ 納付方法 入学後に前期（納付期限5月）、後期（納付期限10月）の2回に分けて納付する必要があります。

このほか、後援会費及び同窓会費が必要であり、また、感染症抗体検査料等の費用が必要になる場合があります。

※ 上記金額は令和7年度入学者の額であり、変更する場合があります。

(3) 追加合格

入学手続終了後、欠員が生じた場合等には、追加合格により補充する場合があります。

(4) インターネット環境及びパソコン等の準備について

本学では、遠隔授業を積極的に取り入れています。このため、入学までにインターネット環境及びパソコン等の準備をお願いします。

14 研究領域及び指導教員連絡先

(1) 保健・医療・福祉政策システム領域

Health / Medical / Welfare Policy System Domain

教 員	研究室名	連絡先
特任教授 大西 基喜	公衆衛生研究室 Public Health	017-765-2085 m-ohnishi@ms.uhw.ac.jp
教 授 大山 博史	精神保健福祉研究室 Mental Health and Psychiatric Rehabilitation	017-765-2093 h_oyama@ms.uhw.ac.jp
教 授 坂下 智恵		017-765-2077 t_sakashita@ms.uhw.ac.jp
准教授 権 順浩	生活保障研究室 Social Security	017-765-2092 s_kwon@ms.uhw.ac.jp
教 授 工藤 英明	介護保険政策・高齢者ケアシステム研究室 Long-Term Care Insurance Policy / Elderly Care System	017-765-2091 h_kudo@ms.uhw.ac.jp
教 授 児玉 寛子		017-765-2075 h_kodama@ms.uhw.ac.jp
教 授 古川 照美	地域保健研究室 Community Health	017-765-2053 t_kogawa@ms.uhw.ac.jp
教 授 齋藤 圭介	生活機能障害リハビリテーション学研究室 Health Promotion and Rehabilitation	017-765-2065 k_saito@ms.uhw.ac.jp
教 授 相馬 正之	高齢者健康支援研究室 Elderly Health Support	017-765-2083 m_soma@ms.uhw.ac.jp
教 授 高阪 悌雄	障害福祉政策研究室 Disability Welfare Policy	017-765-2074 y_takasaka@ms.uhw.ac.jp
教 授 瀧澤 透	保健社会研究室 Health Sociology	017-765-2073 t_takizawa@ms.uhw.ac.jp
教 授 千葉 敦子	産業保健研究室 Occupational Health	017-765-2052 atsuko_chiba@ms.uhw.ac.jp
教 授 村上 眞須美	看護システム研究室 Nursing Administration	017-765-2143 m_murakami@ms.uhw.ac.jp
教 授 三好 美紀	国際地域栄養研究室 Global and Community Nutrition	017-765-4147 m_miyoshi@ms.uhw.ac.jp
教 授 安永 明智	健康行動科学研究室 Health and Behavioral Science	017-765-2024 a_yasunaga@ms.uhw.ac.jp
教 授 吉池 信男	健康推進・栄養政策研究室 Health Promotion and Nutrition Policy	017-765-4169 n_yoshiike@ms.uhw.ac.jp

(2) 対人ケアマネジメント領域

Interpersonal Care Management Domain

教 員	研究室名	連絡先
准教授 漆畑 俊哉	ヒューマンダイナミクス研究室 Human Dynamics	017-765-2090 t_urushihata@ms.uhw.ac.jp
准教授 蝦名 智子	助産学研究室 Midwifery	017-765-2033 s_ebina@ms.uhw.ac.jp
准教授 大野 智子	食育実践研究室 Food and Nutrition Education Practice	017-765-4176 t_ono@ms.uhw.ac.jp
准教授 小野 恵子	在宅看護学研究室 Home Health Care Nursing	017-765-2035 k_ono@ms.uhw.ac.jp
教 授 角濱 春美	看護基礎科学研究室 Theory Development in Nursing Practice	017-765-2036 h_kadohama@ms.uhw.ac.jp

教授 川内 規会	対人コミュニケーション研究室 Interpersonal Communication	017-765-2422 k_kawauchi@ms.uhwa.ac.jp
准教授 小池 祥太郎	基礎看護技術研究室 Innovation in Nursing Skills	017-765-2141 s_koike@ms.uhwa.ac.jp
教授 佐藤 愛	母性看護学研究室 Women's Health Nursing	017-765-2032 m_sato@ms.uhwa.ac.jp
教授 鹿内 彩子	学校栄養研究室 Nutrition for School-aged Children	017-765-4194 s_shikanai@ms.uhwa.ac.jp
教授 篠原 博	スポーツリハビリテーション学研究室 Sports Rehabilitation	017-765-2086 h_shinohara@ms.uhwa.ac.jp
教授 清水 健史	精神看護学研究室 Psychiatric Nursing	017-765-2137 t_shimizu@ms.uhwa.ac.jp
准教授 新改 法子	感染予防看護学研究室 Infection Prevention Nursing	017-765-2031 n_shinkai@ms.uhwa.ac.jp
教授 谷川 涼子	小児看護学研究室 Child Health Nursing	017-765-2046 r_tanikawa@ms.uhwa.ac.jp
教授 出貝 裕子	老年看護学研究室 Gerontological Nursing	017-765-2027 y_degai@ms.uhwa.ac.jp
教授 鳴井 ひろみ	がん看護学研究室 Cancer Nursing	017-765-2040 h_narui@ms.uhwa.ac.jp
教授 福井 幸子	看護実践研究室 Nursing Practice	017-765-2045 s_fukui@ms.uhwa.ac.jp
特別研究教授 山本 茂	アジアの栄養食文化研究室 Asian Nutrition and Food Culture	017-765-2061 (入試担当) nyushi@ms.uhwa.ac.jp

(3) 基礎研究・実用技術領域

Basic Research and Practical Technology Domain

教 員	研究室名	連絡先
准教授 井澤 弘美	食品開発・安全学研究室 Food Development and Safety	017-765-4096 h_izawa@ms.uhwa.ac.jp
教授 今 淳	アンチエイジング・スキンケア研究室 Anti-aging Science / Skin Care	017-765-4009 a_kon@ms.uhwa.ac.jp
教授 佐藤 伸	栄養生命科学研究室 Life Science and Nutrition	017-765-4184 s_sato3@ms.uhwa.ac.jp
教授 清水 亮	臨床栄養学研究室 Clinical Nutrition	017-765-2020 r_shimizu@ms.uhwa.ac.jp
教授 七島 直樹	食品機能化学研究室 Food Functional Chemistry	017-765-2105 n_nanashima@ms.uhwa.ac.jp
准教授 乗鞍 敏夫	基礎栄養学研究室 Basic Nutrition	017-765-4081 t_norikura@ms.uhwa.ac.jp
准教授 福士 勇人	リハビリテーション科学研究室 Rehabilitation Science	017-765-2068 i_fukushi3@ms.uhwa.ac.jp
教授 李 相潤	生体機能学研究室 Biological Functions	017-765-2071 leesu@ms.uhwa.ac.jp
准教授 渡邊 龍憲	認知運動神経科学研究室 Cognitive Motor Neuroscience	017-765-2067 t_watanabe3@ms.uhwa.ac.jp

(4) CNS (専門看護師) コース

Certified Nurse Specialist Course

教 員	研究室名	連絡先
教授 鳴井 ひろみ	がん看護学研究室 Cancer Nursing	017-765-2040 h_narui@ms.uhwa.ac.jp

指導教員及び研究テーマ等詳細については、
下記 URL 又は右記 QR コードを読み取り、ホームページをご参照ください。
<https://www.uhwh.ac.jp/daigakuin/health/laboratory.html>



15 情報開示請求制度について

個人成績の内容（情報）を開示請求できる制度があります。ただし、個人情報保護のため受験者本人の成績を開示請求するに限られます。

（１）開示する内容（入学者選抜試験個人成績）

選抜試験の科目別得点

（２）開示請求の受付

受験生本人が直接窓口で受付することを要します。

- ① 請求期間
第 1 期募集 令和 6 年 10 月 25 日（金）～令和 6 年 11 月 25 日（月）
第 2 期募集 令和 7 年 2 月 17 日（月）～ 令和 7 年 3 月 17 日（月）
- ② 受付時間帯
午後 1 時から午後 3 時まで（土・日・祝日を除く）
- ③ 受付場所
青森県立保健大学 教務学生課
- ④ 請求に必要な書類
受験票（本人であることを確認します）

（３）成績開示の場所及び開示方法

青森県立保健大学教務学生課において受付するとともに成績を開示します。開示方法は、入学選抜試験個人成績（本人分）の閲覧によります。

16 これまでの修士論文・課題研究論文抄録について

下記の URL 又は右の QR コードよりご覧ください。
<https://www.uhwh.ac.jp/daigakuin/m-ronbunsyouroku/2022-0130-1347-112.htm>



17 大学院・MPHプログラムに関するQ&A

大学院全般に関するQ&A

Q 1 働きながら大学院を修了することは可能でしょうか。また、青森市周辺に在住していなくても授業を受け、学位を取得することができますか。

A 1 本学大学院では、社会人である方や遠方にお住まいの方が安心して学べるように次の①～③の環境を整備しております。

- ①授業の土日、夜間開講、夏季の集中開講
- ②Web 会議システムを活用した遠隔授業や研究指導
- ③標準修業年限（2年）を超えて3年での履修が可能な「長期履修制度」（CNS コース除く）

Q 2 英語を学ぶことからしばらく遠ざかっていました。授業についていけるか不安です。

A 2 大学院入学後は、研究を進めるにあたり、英語論文の検索や読解が欠かせないため、英文読解のポイントを学びながら基礎的英語力を身につけ、またディスカッションをしながら複数の英語の論文に触れて慣れ親しむための科目を開講しております。

（履修科目について）

Q 3 修了までに必要な単位数を教えてください。

A 3 本学ホームページに履修科目及び修了要件を掲載しておりますので、下記 URL 又は右記の QR コードからご確認ください。

<https://www.uhw.ac.jp/about/corp-info/files/ingaku.pdf>



MPH (Master of Public Health) プログラムに関するQ&A

（出願資格について）

Q 4 MPHプログラムに進学するには医療関係の資格等の要件はありますか。

A 4 出願資格については、5ページの「4 出願資格」に掲げるとおりであり、それ以外にMPHプログラム固有の出願資格は設けておりません。

（研究指導教員について）

Q 5 「修士（公衆衛生学）」の学位取得のためには、特定の領域、研究室に所属する必要はありますか。

A 5 16～17ページの「14 研究領域および指導教員連絡先」に掲げるうち、どの領域、研究室に所属した場合でも、修了要件を満たせば、「修士（公衆衛生学）」の学位が取得できます。

（入試について）

Q 6 MPHプログラムの入学者選抜試験について教えてください。

A 6 10ページ「10 選抜方法」に掲げるとおりです。
特別な区分及び定員は設けていません。

Q 7 修了後の進路について

A 7 MPHプログラム修了後は、青森県内外において公衆衛生実務の指導的立場で貢献するエキスパートとして活躍することができます。

出 願 書 類 様 式

A 票 . . . 入学志願票

B 票 . . . 履歴書

C 票 . . . 研究計画書

D 票 . . . 出願資格認定審査申請書（出願資格認定審査申請用）

E 票 . . . 履歴書（出願資格認定審査申請用）

上記様式は本学ホームページからダウンロードできます。

<https://www.auhw.ac.jp/daigakuin/exam/seikyuu.html>

A 票

令和7年度

青森県立保健大学大学院健康科学研究科健康科学専攻（博士前期課程）

入学志願票

受験日程 (○で囲む)	1:第1期 2:第2期	受験番号 ※
選抜区分 (番号を○で囲む)	1:一般選抜 2:外国人留学生選抜 3:CNSコース選抜	
修業年限の選択 (番号を○で囲む)	1:標準修業年限(2年) 2:長期履修(3年) ※CNSコースは、標準修業年限(2年)のみ選択可能	
取得を希望する学位 (番号を○で囲む)	健康科学 ・ 看護学 ・ 社会福祉学 ・ 公衆衛生学	
(フリガナ) 志願者氏名 (漢字)		研究指導 教員名 事前相談済みの方はチェックを入れてください。 <input type="checkbox"/>
性別 生年月日	性別 1:男 2:女	生年月日(年齢) 西暦 年 月 日 (満 歳)
合格通知 受信場所	〒 都道府県	
電話番号		
メールアドレス		
勤務先 (在職者のみ記入)	(企業等名・所属・職名) TEL - -	
出 願 資 格	(フリガナ) 学 校 名 (出願資格に該当する 出身学校)	学校の種類等 国立・公立・私立 大学 短期大学 高等専門学校 専修学校 旧法学校 その他
	学 部 ・ 学 科 等	
	学 校 所 在 地	
	卒業等 1:卒業(修了)見込 2:卒業(修了) 3:大学3年以上在学見込 4:大学3年以上在学	卒業等年 西暦 年 月

注1) ※欄は、記入しないでください。注2) 各項目に記入又は該当する番号を○で囲んでください。
注3) 「合格通知受信場所」欄は、合格通知の送付先や緊急時の連絡ができる住所、電話番号を記入してください。

【以下のアンケートへの御回答もお願いします。】

「本学大学院を知ったきっかけ」として、当てはまる数字を○で囲んでください。

- 1 ホームページや大学院案内等広報資料 2 本学大学院の院生又は修了生からの紹介
3 上司、同僚からの紹介 4 家族、友人からの紹介 5 その他()

大学使用欄 ※出願資格認定

履 歴 書

令和7年度博士前期課程

受験日程(○で囲む)		第 1 期 ・ 第 2 期		受験番号	※
住 所	〒				
フリガナ 氏 名 生年月日	西暦 年 月 日				
学 歴	年	月	事 項		
職 歴	年	月	事 項		
免許・資格	種別	種別		種別	
	取得年月 番号	取得年月 番号		取得年月 番号	
賞罰					
上記のとおり相違ありません。					
西暦 年 月 日					
氏名					

記入上の注意

1. 学歴について

①日本での教育の場合は、高等学校卒業（または、それに相当するもの）以降について記入してください。

②外国での教育の場合は、初等教育（小学校）、中等教育（中学校・高等学校）、高等教育（大学・大学院）において在籍したすべての学校を記入してください。

2. 職歴欄の勤務先・職種は具体的に記入してください。

3. ※欄は記入しないでください。

C 票

研究計画書

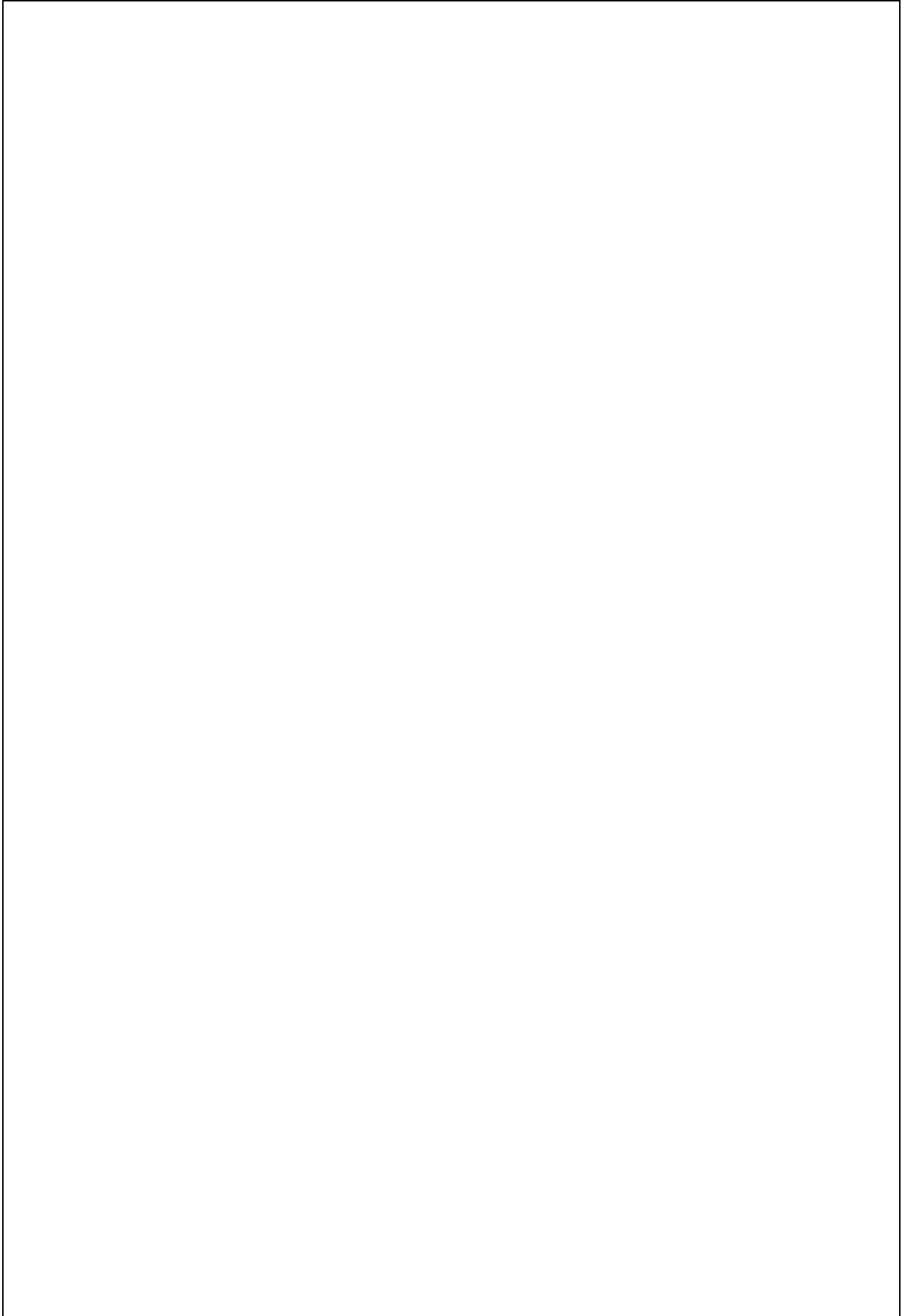
令和7年度博士前期課程

受験日程(○で囲む)	第1期・第2期	受験番号	※
氏名		研究指導教員名	
希望する研究テーマ			
1 この研究テーマを設定した問題意識 なぜ、この研究テーマを選んだか。			
2 研究計画 どのような方法で、どこまで明らかにしようとするのか。			
3 これまで実施した研究(卒業研究を含む)はどのような内容か。			

- 記入上の注意
- ※欄は記入しないでください。
 - 2ページに収まるように記入してください。

(裏面に続く)

(表面より)



D 票

令和7年度
青森県立保健大学大学院健康科学研究科健康科学専攻
(博士前期課程)

出願資格認定審査申請書

受験日程(○で囲む)	第 1 期 ・ 第 2 期	受験番号	※
青森県立保健大学学長 殿			
貴大学大学院健康科学研究科健康科学専攻(博士前期課程)入学者選抜試験に出願を希望します。 ついては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。			
西暦 年 月 日			
フリガナ 氏 名 _____			
志望する領域			
取得を希望する学位			
出願資格認定選抜区分	1	一般選抜	※
	2	外国人留学生選抜	※
	3	CNSコース選抜	※
住 所	〒 _____ 都道府県	電話番号 _____	_____
審査結果通知先	上記と異なる場合のみ記入 〒 _____ 都道府県	電話番号 _____	_____
緊急連絡先電話番号	_____	_____	_____
メールアドレス			
最終学歴 (大学・高等学校等)	学校名 _____	西暦 年 月	卒業・(修了) 卒業(修了)見込

※欄には記入しないでください。

履 歴 書

(出願資格認定審査申請用)

令和7年度博士前期課程

受験日程(○で囲む)	第 1 期 ・ 第 2 期		受験番号	※
住 所	〒			
フリガナ 氏 名 生年月日				
学 歴	年	月	事	項
職 歴	年	月	事	項
免許・資格	種別	種別	種別	
	取得年月 番号	取得年月 番号	取得年月 番号	
賞罰				
上記のとおり相違ありません。				
西暦 年 月 日				
氏名				

記入上の注意

1. 学歴について

①日本での教育の場合は、高等学校卒業（または、それに相当するもの）以降について記入してください。

②外国での教育の場合は、初等教育（小学校）、中等教育（中学校・高等学校）、高等教育（大学・大学院）において在籍したすべての学校を記入してください。

2. 職歴欄の勤務先・職種は具体的に記入してください。

3. ※欄は記入しないでください。

(表面より)

業 績 論文発表・学会 その他における 活動状況等	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	
	年 月	

※P5「4 出願資格⑧⑨⑩」に該当する者のうち、⑨ア、イ、ウのいずれかによる資格審査を申請する者は、業績のコピー（論文、報告書及び学会発表の抄録等）を提出してください。なお、それ以外の該当による資格審査を申請する者において、提出を妨げるものではありません。

大学院入試に関する問い合わせ

青森県立保健大学 教務学生課

〒030-8505 青森市大字浜館字間瀬58-1

TEL 017-765-2061 FAX 017-765-2188

受付時間 8:30~17:00

Email : nyushi@ms.uhw.ac.jp

URL <https://www.uhw.ac.jp/>